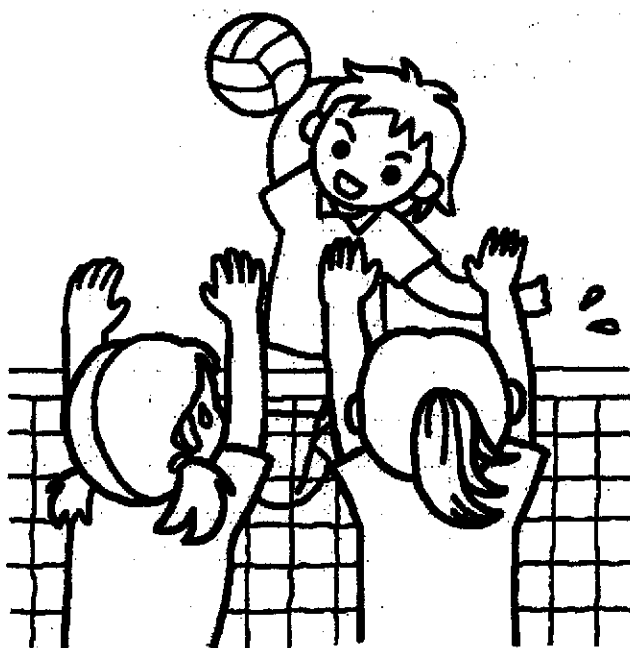


第 48 回
福島県小学生バレーボール選手権大会
相双地区大会



日 時：令和 6 年 11 月 2 日（日）
会 場：新地総合体育館
主 催：福島県バレーボール協会・福島県小学生バレーボール連盟
主 管：相双バレーボール協会・相双小学生バレーボール連盟
後 援：新地町教育委員会

福島県小学生バレーボール選手権大会相双地区大会優勝チーム

[illegible]

大会役員

大会名誉会長
大会会長
大会副会長
顧問
大会委員長
大会副委員長
大会委員

堀川 泰宏 (相双バレーボール協会)
荒 功
林 充
狩野 一美 江本 節子
横山 貴司
小泉 英明 宮下 亨
猪苅 裕志 鈴木 正人 河西 英哲
半野 政明 加藤知奈美 佐藤 龍也
小迫久美子 久保田 学

競技役員

競技委員長
競技副委員長
競技委員

佐藤 憲夫
林 昌一郎
佐藤 淳 牛来 喜之 狩野 輝彦
小迫 政人 久保田 学 猪苅 真由美
水沼 祐二 林 充 河西 英哲
佐々木 将至

審判規則委員長
審判規則副委員長
審判規則委員

佐藤 龍也
佐藤 和重
佐藤 睦 鈴木 正人 佐々木 美香
秋元 康志 馬場 安夫 小迫久美子
島 裕太郎 村松 彩花 門馬 美幸

総務委員長
総務副委員長
総務委員

加藤 大輔
寺島 政和 幕内 富美子 (相双バレーボール協会)
土生 健史 三浦 佑基 加藤知奈美
鈴木 正人 佐藤 あさみ 高橋 友寛
蛸原 芳一 武田 啓子 加藤 由香

補助委員
記録報道主任
記録報道委員

各チーム保護者会
各チーム団員
横山 貴司
加藤 大輔

第48回福島県小学生バレーボール選手権大会相双地区大会代表者会議

1.会議

進行 加藤総務委員長

(1) 会長挨拶

(2) 理事長から

(3) 競技委員長から

(4) 審判規則委員長から

2.その他

(1) トイレ・会場当番

トイレ高平・会場原三

開 会 式 次 第

進行 加藤総務委員長

① 開式のことば (理事長)

② 会長あいさつ (会長)

③ 優勝杯返還

男子 若駒クラブ男子

女子 八幡ジュニア

混合 原三バレーボールスポーツ少年団

④ 選手宣誓 八幡ジュニア 主将 佐藤あかりさん

⑤ 会場使用上の注意 (尚英ガッツ)

⑥ 閉式のことば (林副会長)

トイレ当番 高平

会場確認 原三

第48回福島県小学生バレーボール選手権大会相双地区大会参加申し込み一覧

6人制男子		6人制女子		男女混合	
番号	チーム名	番号	チーム名	番号	チーム名
1	磯部男子	1	飯豊みずほ	1	大野
2	尚英	2	磯部女子	2	高平
3	みなみそうま男子	3	川内	3	原三
		4	新地	4	若駒
		5	原三		
		6	南相馬 jr		
		7	八幡		

うつくしまふくしま
第48回福島県小学生バレーボール選手権大会

主 催 公益財団法人福島県都市公園・緑化協会、福島県バレーボール協会、福島県小学生バレーボール連盟、福島県スポーツ少年団
主 管 相双バレーボール協会 相双小学生バレーボール連盟
後 援 新地町教育委員会

1 大会の趣旨

- (1) バレーボールを通じ、小学生の体位向上と体力養成に努め、心身共に健全な身体づくりに資する。
- (2) バレーボールの基本技術を正確に習得させ、楽しいゲームができるようにするとともに、親睦や交流を深める。

2 開催期日

令和7年11月2日(日)

3 会 場 新地総合体育館

4 開会式 8:50

5 参加資格

- (1) チームは、2025年度日本小学生バレーボール連盟に登録して福島県スポーツ少年団にも登録してあること。また、福島県小学生バレーボール連盟登録及び競技規定により承認されている団体及び構成員であること。
- (2) スポーツ安全傷害保険に加入してあること。
- (3) 指導者(監督・コーチ・マネージャー)の複数名は、令和7年度日本スポーツ少年団登録をして有資格指導者(認定員・認定育成員)であること。
- (4) 監督は、成人であること。また、ベンチスタッフ1名以上は、日本バレーボール連盟認定初級・上級指導者及び公益財団法人日本バレーボール協会認定バレーボール(コーチ1・コーチ2・コーチ3・コーチ4)が最低一人はベンチにいないといけない。ただし、2021~2024の4年間を時限措置として旧全国小学生バレーボール指導者一次講習会受講者についても同様に扱う。また、試合時にそれらを証明する証明書等を胸に下げていなければならない。
- (5) 成人のベンチスタッフは、日常子供たちの健全育成を目指して指導に当たっているものであること。体罰、暴力、暴言、セクシャルハラスメント等、子どもを指導するものとして不適切な行為を行った者の出場は認めない。
- (6) ベンチスタッフは、JVA-MRSに登録され、且つ宣誓書に署名捺印した者に限る。(MRSに役員登録している方もチームスタッフとしての登録が必要)
- (7) 他の都道府県から移籍した選手(他県からの新規登録を含む)が登録選手の三分の一を超えてはならない。

6 チーム編成

- (1) チームは、監督1名・コーチ2名・マネージャー1名・選手14名以内とする。
(但し、監督・コーチ・マネージャーのうち1名は上記の指導者の参加資格をみたす者。)
- (2) 選手は、保護者が出場を承認したものであること。

7 大会運営留意事項

体調のすぐれない選手・指導者・保護者は参加を控える

8 競技規則

令和7年度、「公益財団法人日本バレーボール協会の定める6人制競技規則」による。但し、別の定める小学生バレーボール・フリーポジション制を採用する。

9 試合球

公益財団法人日本バレーボール協会が公認する人工皮革軽量4号球カラーボール(円周)62~64cm 重量200~220g)、ボールの内気圧については6人制競技規則に準じる。

男子:「モルテンボール(V4M5000-L)」

女子:「ミカサボール(V400M-L)」

混合:「モルテンボール(V4M5000-L)」

10 組み合わせ抽選会

令和7年10月22日 19:00より

相馬市中央公民館(千客万来館)にて行う。

11 申し込み方法

小泉競技委員長へメールで送付してください。

12 参加料(大会運営費として・賞状・レプリカ代・その他)

1チーム2000円

13 申し込み締め切り

令和7年10月17日 必着

14 その他

- (1) 選手の番号は、現行使用のものでよい。
- (2) ベンチスタッフ(監督・コーチ・マネージャー)の服装を統一する。
- (3) 監督・コーチ・マネージャー章は、各チームで準備する。
- (4) 傷害保険の加入は、各チームで行っておくこと。

競技上の注意事項

1. 本大会は、特別に定める小学生のためのルール「フリーポジション制」とスコアリングシステムは、小学生のための21点制ラリーポイントシステム（3セット目は、15点ラリーポイントシステム）を用いる。

その他は、令和2年度（財）日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。

（全国審判規則委員会の申し合わせ事項から）

サーブ順を間違えて、違うサーバーが出てきた場合は、記録の方で教え正しいサーバーに打たせる。

もし、記録が間違えて教え、ロングサーバーになってしまった場合は、記録の責任ではなくチームの責任とする。

2. 試合は、すべて3セットマッチとする。
3. 競技開始時刻は、第1試合を開会式終了後と設定する。また、設定のそれぞれの時刻は、ホイッスルの時刻とする。
試合開始の時刻の設定のない第2試合以降については、前の試合終了後、両チームの合同共通練習5分後、プロトコールに入るものとする。（追込み方式）
連続して試合をするチームがある場合は、最大15分間の休憩をとる。
4. 試合開始時刻15分を経過しても開始できない場合は、当該チームを棄権として取り扱います。
5. チームの構成は、監督・コーチ・マネージャー各1名、選手14名以内とする。

（注1） 監督・コーチ・マネージャーのうち1名は成人であること。

（注2） 監督・コーチ・マネージャーは、2チームを兼任することはできない。

6. 監督・コーチ・マネージャーのマークは規定のものを用い、必ず左胸部につけること。

また、全国小学生指導者講習会（平成5年度以降）受講証明書または、日体協認定指導員の資格証を、試合開始前に主審に提示し、試合中に携帯すること。

7. エントリーの変更（番号の変更及び誤字などの訂正を含む）は、参加資格に反しないことを条件に、所定の手続きを代表者会議終了時まで完了しなければならない。提出後の変更は一切

認めない。(変更がない場合も全チーム提出すること。地区大会第1日目は、運営責任者へ)

8. コートのワイピングは、危険な場所は審判が指示するが、それ以外はなるべく選手によって速やかにワイピングをするようにする。(セット間は補欠の選手でも可)
9. 試合開始・終了時のあいさつは、選手全員で行う。しかし、ベンチへのあいさつはしないで、速やかにコートから退出すること。
10. 空きコートでの練習はウォーミングアップのみとする。
11. 競技場のフロアーには、試合中と次の試合で待機しているチーム以外は入場しないこと。
12. ベンチには、飲料水と医薬品等の試合に関係するもの以外は、持ち込まないようにすること。
13. 補助員(記録・線審・点示)については、全試合小学生が行う。
14. 各チームの応援旗・幕は自チームの試合のときのみとする。
15. 会場の使用上の注意を遵守すること。特にごみの持ち帰り。

(借りたときよりも美しく)

(付記) 開会式は、全チーム参加し、ユニホームとする。(原則として短パンとする。)

＜競技をする上での追加留意事項＞

1. 試合数が、多いために試合間のデットタイムを無くすようにすること。追い込み方式の場合は、全試合の終了のホイッスル（第2または第3セットの終了のホイッスル）

共通合同練習



（5分間）

プロトコール

○試合が連続する場合

前試合の終了のホイッスル（第2または第3セットの終了のホイッスル）



（1.0分間休憩時間）

共通練習開始



（5分間）

プロトコール開始



（1.1分間）

試合開始（第1セット開始のホイッスル）

2. 4チームのブロックリーグ戦の場合は、試合が連続（審判も含む）しているために昼食をとることができないこともありうるので、コート毎に全体で昼食の時間をとってもよい。その場合は、各コートの進行状況をみて、第3試合または第4試合の終了後20～30分程度の休憩をとってもよい。

＜付 記＞

1. 監督・コーチ・マネージャーは、第1日目の代表者打ち合わせ会で提出されたエントリー変更後は一切の変更を認めない。大会期間中の2日間は、同じメンバー構成になる。
監督不在の場合は、コーチが監督を代行できる。その際は、コーチとしてであり、監督に変更されたわけではない。（監督でない場合は、試合のときタイムを取ることはできない。）
2. 2日間の大会期間中ベンチには、必ず1名は成人がいること。

プロトコール(試合開始前・セット間及び終了後の手順)

(2024年版ルールブックによる)

<試合開始前>

試合前	チーム	主審・副審
	両審判員のネット等のチェック時は、ネットを使用せずにウォームアップをすることができる。	両審判員は、ネットの高さ、張り具合、アンテナの位置及びサイドバンドの位置をチェックする。
11分前	監督とチームキャプテンは、トスのためスコアラーズテーブルへ行く。トスの後、記録用紙にサインする。	主審は、スコアラーズテーブル前で、副審を立ち合わせてトスを行う。両チームの監督とチームキャプテンを記録用紙へのサインのため、スコアラーズテーブルに導く。
10分前	両チームが一緒に、または個別に(サービス権を得たチームから)公式ウォームアップを開始する。	主審は、公式ウォームアップ開始をホイッスルする。そして、ボール、記録用紙、プザー、ユニフォームなどゲームに必要な道具をチェックする。ラインジャッジ、ボールリトリバー、モッパーと打ち合わせを行う。副審は、公式ウォームアップの計時を行う。
7分前	個別にウォームアップを行っている場合は、交替する。	副審は、各チームが個別に公式ウォームアップを行っている場合は、その交替をホイッスルで合図する。
4分前	公式ウォームアップを終了し、各チームのメンバーは速やかにベンチにもどる。	主審は、公式ウォームアップの終了をホイッスルする。
3分前	全プレーヤーは、エンドライン上に整列する。主審のホイッスルでネット付近で最初に両チームキャプテンが握手する。そして、チームメンバーが続いて握手する。その後、各チームのメンバーはベンチに戻り、スターティングプレーヤーは、ユニフォーム姿で待機する。	主審は、両チームプレーヤーをエンドライン上に導く。主審と副審は審判台の前で、ネットをはさんでスコアラーズ側から見て、左側に主審、右側に副審が位置する。両チームが整列したら、挨拶(握手)を交わすようホイッスルする。審判役員はそれぞれの定位置につく。
1分30秒前	主審のホイッスルで、スターティングプレーヤーはベンチから直接コートに入る。	主審はホイッスルで、プレーヤーをコート内へ導く。副審は、サービスゾーンの4カ所のコーナーに位置しているボールリトリバーにボールを1つずつ送る。副審およびスコアラーはそれぞれスターティングラインアップを照会する。その後、副審は、ボールを最初のサーバーに送る。
0分前	最初のサーバーは、主審のサービス許可のホイッスルによりサービスを行う。	主審は、サービス許可のホイッスルをする。

<セット間>

試合前	チーム	主審・副審
セット終了時	セットが終了したら、コート上のプレーヤーはエンドライン上に整列する。プレーヤーは主審のホイッスルで、向かって右側のサイドラインに沿って進み、支柱の外側を通過したら直接それぞれのベンチに戻る。	主審は、両チームのプレーヤーがエンドライン上に整列したら、コートチェンジするようホイッスルとシグナルで合図する。
2分30秒後	プレーヤーは、副審のホイッスルにより、ベンチから直接コートに入る。	副審は、記録員の合図を受けて両チームにコートに入るようホイッスルで合図する。副審と記録員は、その後直ちに、スターティングラインアップを照会する。

<最終セットのコートチェンジ>

試合前	チーム	主審・副審
いずれかのチームが8点目を先取した時	コート上のプレーヤーは、エンドライン上に整列し、主審のホイッスルとシグナルで向かって右側の支柱の外側をまわりコートを交替する。	主審は、コート上のプレーヤーをエンドライン上に整列させ、コートチェンジするようホイッスルとシグナルで合図する。

<試合終了後>

試合前	チーム	主審・副審
速やかに	試合が終了したら、コート上のプレーヤーはエンドライン上に整列し、主審のホイッスルで、ネットに近づき相手チームと挨拶(握手)を交わす。チームキャプテンは、主審と副審に感謝の握手をする。そして、記録用紙にサインする。チームは直ちにベンチから退出する。	主審は、コート上のプレーヤーをエンドライン上に整列させる。主審は、審判台を降り、副審が審判台右側の定位置についたらホイッスルで、両チームに挨拶(握手)をさせる。そして、両方のチームキャプテンを伴ってスコアラーズテーブルに行き、記録用紙にサインさせ、その後、スコアラーの記録用紙への記入を完了させる。

※ 個々の大会において必要と認めた場合は、プロトコールの下記の点を変更してもよい。

- 1 ワンボールによる試合の場合は、ボールリトリバーに関するプロトコールを省略する。
- 2 ワンボールによる試合の場合には、副審は、セット間の中断、コートの交替、およびタイムアウトのときにボールを保管し、試合再開時にサーバーに渡す。

会場使用上の注意

1. 会場では、下足と上履きの区別を明確にすること。
特に、雨天時の下足・雨具等は、ビニール袋等に入れ、各自保管すること。
万一紛失しても主催者では、一切責任を負わない。
2. アリーナには、直接試合に関係あるもの以外は入場しないこと。
3. 会場では、指定された以外に絶対入らないこと。
4. 喫煙については、指定された場所以外では喫煙しないこと。
5. 更衣室は、特別に使用しない。
6. 各チームとも貴重品の保管に十分注意すること。
物品等の紛失については、主催者側では責任を負わない。
7. 各チームとも会場から退去する際、自チームのゴミ等をきちんと処理し持ち帰ること。
8. トイレの使い方については、掃除をする方の身になり、十分注意すること。
9. 応援の仕方とマナー、飲食物等の後始末をきちんとすること。
10. 駐車場については、指定された以外には駐車しないこと。
特に、体育館周辺の路上駐車は禁止になっています。

※ 以上について監督・指導者責任において指示徹底を図る。

第48回福島県小学生バレーボール選手権大会相双地区大会（男子の部）

令和7年11月2日

【男子の部】

みなみそうま男子	1
磯部男子	2
尚 英	3

男子の結果

1位	みなみそうま男子
2位	磯部白波クラブ男子
3位	尚英ガッツ

Aコート（短管）

順序	チーム名	点 数	チーム名	審判チーム
1	みなみそう ま 男 子	21 - 1	尚 英	磯 部
		21 - 8		
		-		
2	磯 部	21 - 4	尚 英	みなみそう ま 男 子
		21 - 9		
		-		
3	みなみそう ま男子	21 - 19	磯 部	尚英
		21 - 17		
		-		

会 場	会場責任者	コート	コントローラー	備考
新地総合	小泉英明	B	猪刈祐志	

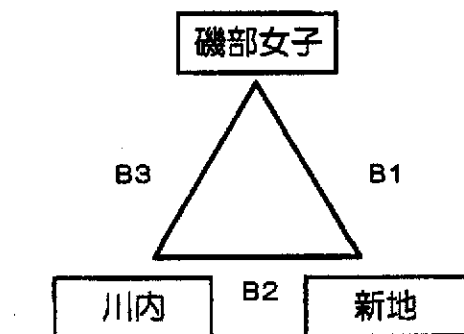
第48回福島県小学生バレーボール選手権大会相双地区大会（女子の部）

令和7年11月2日

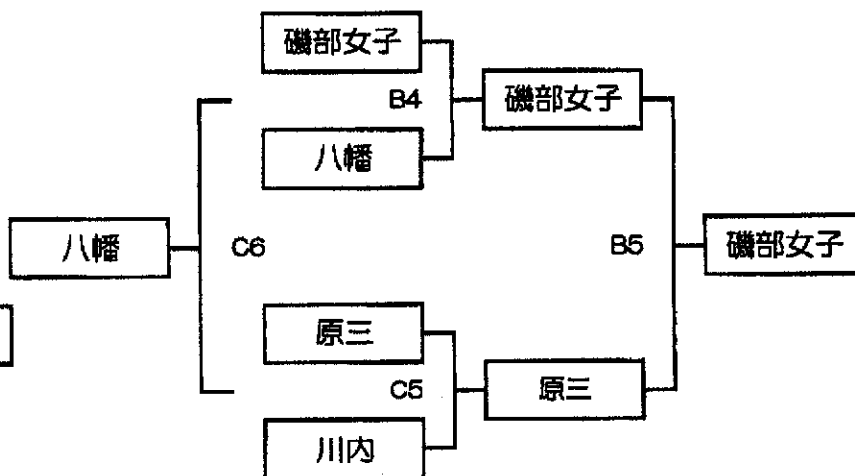
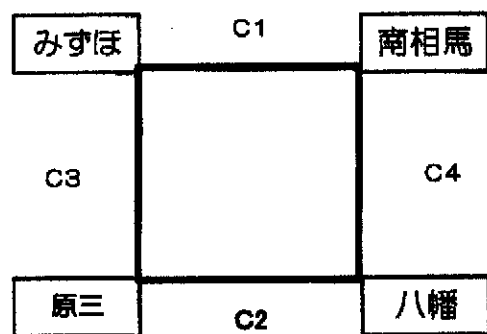
【Aブロック・Bコート】

女子の結果

1位	磯部白波クラブ女子
2位	原三VBSS
3位	八幡Jr



【Bブロック・Cコート】



Bコート（長管）					Cコート（短管）				
順序	チーム名	点 数	チーム名	審判チーム	順序	チーム名	点 数	チーム名	審判チーム
1	磯部女子	21 - 8	新地	川内	1	みずほ	21 - 12	南相馬	八幡
		21 - 3					20 - 22		
		-					15 - 6		
2	新地	8 - 21	川内	磯部女子	2	八幡	12 - 21	原三	みずほ
		14 - 21					6 - 21		
		-					-		
3	磯部女子	21 - 8	川内	新地	3	みずほ	10 - 21	原三	南相馬
		21 - 2					11 - 21		
		-					-		
4	磯部女子	21 - 6	八幡	南相馬 Jr	4	八幡	21 - 12	南相馬	原三
		21 - 1					21 - 19		
		-					-		
5	磯部女子	19 - 21	原三	新地	5	原三	21 - 7	川内	みずほ
		21 - 14					21 - 4		
		-					-		
6	八幡	21 - 10	川内	南相馬 Jr	6	八幡	21 - 10	川内	南相馬 Jr
		21 - 12					21 - 12		
		-					-		

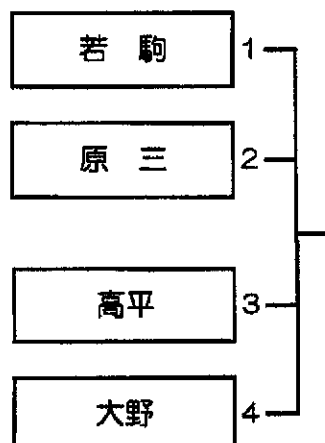
会 場	会場責任者	コート	コントローラー	備考
新地総合	小泉英明	A	半野政明	
		D	小迫久美子	

※会場開館及び会場設営→8:05 代表者会議→8:15 開会式→8:50 試合開始→9:20

第48回福島県小学生バレーボール選手権大会相双地区大会（混合の部）

令和7年11月2日

【混合の部】



混合の結果

1位	若駒クラブ
2位	大野Jr

Dコート（長管）

順序	チーム名	点 数	チーム名	審判チーム
1	若 駒	21 - 8	高 平	原三・大野
		21 - 9		
		-		
2	原 三	15 - 21	大 野	若駒・高平
		14 - 21		
		-		
3	若 駒	21 - 11	大 野	原 三
		21 - 12		
		-		
4	原 三	15 - 21	高 平	大 野
		15 - 21		
		-		
5	若 駒	21 - 8	原 三	高 平
		21 - 4		
		-		
6	高 平	20 - 22	大 野	若 駒
		10 - 21		
		-		

会 場	会場責任者	コート	コントローラー	備考
新地総合	小泉英明	C	佐藤憲夫	

※ 会場開館及び会場設営→8:05 代表者会議→8:15 開会式→8:50 試合開始→9:20